

謹賀新年

2025年(乙巳)^{きのとみ}

日精会たより

古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 田中一男
編集責任者 大門陽利

会員状況
12月現在
108名



戦場ヶ原 蛇とムカデの戦い 玄梅氏・中村さん提供

本部の動向

- ◎ 役員会議 9月5日・10月4日・11月12日
- ◎ 県退連 学習会 8月27日 田中会長他4名
- ◎ 幹事会 10月3日 長尾
- ◎ 定期総会 10月30日 田中会長他2名
- ◎ 古河労組日光支部定期大会 10月9日 田中会長

本年度も親睦ときずなを礎に、県高退連並びに古河電工労組日光支部との連携のもと、活動を展開して参ります。

昨年、新会員の皆様を迎える事ができました。まだまだ、数は少ないですが入会活動の成果が表れてきました事は嬉しくも、活動の糧になる訳であり、心から感謝申し上げます。

結びに、会員各位とご家族様のご健勝を心からご祈念申し上げますと共に、旧に倍のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

日精会も、コロナ明けが定着し各部会や企画部会の各行事を開催し親睦を強めてきました。当然ですが、その結果を「日精会たより」にて会員にお知らせしより一層のきずなを深めてきました。

また、高齢者の生活安定をめざし、昨年10月に行われた衆議院選挙に今回も福田あきおさんを推薦し、取り組んで参り、お蔭さまで福田あきおさんも7度目の当選を果たせました。ご協力に感謝申し上げます。

昨年、能登での大地震が元旦早々に発生し、日本中が正に震撼する波乱の幕開けとなりました。

しかし、暗い話題だけではなく、明るい話題もありました。特に野球界に於いて、世界に誇る大谷翔平選手の大活躍は、日本中を勇気づけてくれました。暗く沈みがちな私たちの心に、希望を灯してくれました。

ご指導を頂いております事に、心から感謝申し上げます。

昨年、能登での大地震が元旦早々に発生し、日本中が正に震撼する波乱の幕開けとなりました。

しかし、暗い話題だけではなく、明るい話題もありました。特に野球界に於いて、世界に誇る大谷翔平選手の大活躍は、日本中を勇気づけてくれました。暗く沈みがちな私たちの心に、希望を灯してくれました。



日精会 会長 田中一男

明けましておめでとうございます。



わらくいけ

昨年の衆議院選は与党の過半数割れとなり、野党の躍進で終わった。日精会の推薦候補も当選し、御礼を言いたい。

◇「政治とカネ」に端を発し、石破新首相が党利党略で衆議院を解散したが、選挙中の首相の言行不一致や活動費二千万円の支給問題がタメ押しとなった。◇第一次内閣も発足し、与野党間の緊張状態の中、国民に目を向けた物価高、社会保障・「政治とカネ」等の懸案を、早期に具体的対策を期待したい。

◇新年にあたり健康長寿への思いを書いた。「人生100年時代」と呼ばれる中、統計からは、75才からの要介護者は60才より74才に比べ約7倍に急増するとの事。◇現実に70才前後になると物忘れや体の衰えを実感する。100年余りを心身共に健康で自立して過ごすにはハードルは高く、自分で虚弱化防止の意識を高める必要がある。◇経済面も医療・介護等の社会保険料の負担は増え続け、退職時に作成したライフスタイルと心身の維持管理の見直しも必要だ。◇健康の維持は、「座る」「立つ」「歩く」で筋力の低下防止に努め且つ長続きする事が重要だ。少なくて歩歩・身近な体操や家事を習慣付けたい。◇認知機能にも影響を及ぼすとされる五感(視・聴・嗅・味・触)にも関心を持ち異常時の対応を怠らない事だ。◇作り上げた地域との繋がりと、暮しの中に目標を持ち続けて、生き生きと過ごしたい。◇今年も健康で過ごせる様、努力して行きたい。目標のピンコロリまではまだ長い道のりだ。

(M・S)

栃木県退職者連合

会長 有野一良



明けましておめでとうございます。県退連は、昨年設立30周年を迎え、日精会の皆様をはじめこれまでのご支援に感謝するとともに、更なる組織の発展を目指し、記念式典の開催や記念誌を発行し、節目を祝したところです。

さて、かけがえのない平和を、次代を担う若者につなぐことも私たちの役目です。世界各地で紛争が起きるなか、長年の核廃絶運動や高校生平和大使も含め次世代に繋ぐ活動が評価され、日本原水爆被爆者団体協議会が、ノーベル平和賞を授与されたのは喜びです。

また、昨年の総選挙で与野党伯仲の政治情勢となり、私たちの運動の目的である社会保障制度の充実や安全で豊かな福祉社会作りに向け、十分な政策論議を経て、より良い政策が発展されますことを期待しています。

結びに、日精会会員の皆様のご健康と多幸を祈念し、新年の挨拶といたします

古河電工労組 日光支部

執行委員長 斎藤大輔



明けましておめでとうございます。ご家族共々、健康で輝かしい新年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

日頃より田中会長をはじめ皆様方には、深いご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、地政学リスクや物価高の影響など生活不安・将来不安の増す社会・経済情勢により、先行き不透明な状況が続く中、新体制のもと10月の定期大会にて審議決定した方針に沿い、活動をスタートしました。

時代の転換期にあり、人材の獲得競争が激化する中で、従来にも増して変動する操業への対応など課題は山積しておりますが、「環境変化への対応力を高め変革に挑む」という気概を持って、組合員とその家族、地域の皆様に一体感を持って対応すると共に、各級議員と連携し、我々の求める政策・制度要求実現に向け取り組んで参ります。

古河電気工業株式会社 日光事業所

所長 高松一弘



日精会の皆様、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より事業運営に多大なるご支援とご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年、古河電工グループは創業140周年を迎え、当社グループの存在意義である「つづく」をつくり、世界を明るくする。というパーパスを制定しました。経済環境は不安定な世界情勢のもと、まだまだ厳しい業況が続いておりますが、一方で様々な分野におけるSDGの深化は加速し、SDG達成やカーボンニュートラル実現に向けて、社会からの当社グループへの期待は益々大きくなってまいります。

私ども日光事業所は、創業以来磨き続けてきた「技術力」と日精会の皆様はじめ諸先輩方が築いてこられた強みである「伝統ある文化・ものづくり力」を生かし、今年も様々な社会課題に向き合い挑戦することで、より良い未来へと繋がる「つづく」をつくり、この日光を明るくし、「和楽踊り」などを通じて地域を盛り上げて参りますので、皆様には引き続きのご指導とご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

結びに日精会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、

ご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年にあたり一言

大沢東支部 高久一彦



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

編集部より、年男の抱負等の原稿依頼がありましたが、これといった特別などを書いてみえず。凡人のひとりごとを読んでもいただければ幸いです。

◎参議院不要論について

参議院は衆議院の行き過ぎをチェックし足りない点を補う反省の院、良識の府であり再考の府であるべきなのに、政党色の強い人達で構成されているため衆議院と同じような政争をしている。(ムダ)そして、経費と時間の節約、世界の主要国の約半数が一院制であることを思えばなおさらである。

◎報道機関について

国民は正しく性格で透明性のある情報を知る必要と権利があることから、権力の乱用を防ぎ国民の政治的自由を保証するために、三権分立と同等程度の権力と自由を報道機関に持たせてはと思う。数年前にテレビの報道中のある長期番組に対し、政府に都合の悪い内容があるとして圧力がかかったとか、記者会見で除外される記者がいるとかなど権力者の都合で報道が左右されるのは異常といえる。過去に時の権力者が「大本営発表」として国民を操った苦い経験を忘れてはならない。

◎首都機能分散について

災害大国日本の主要権力と機能が集中している東京に大災害が発生した場合には、初期対応や非難対応の混乱、復興の遅れなどが予想される。首都機能分散の必要性は大であり早期の検討が必要である。国造りの基本中の基本は人づくりであることを政治家は認識し、国が繁栄したシンガポールなどに学ぶことも大切である。もっと書きたいことがあるが紙面の都合で筆をおきます。

